

2025年度 第2回地域連携推進会議 議事録

事業所名	社会福祉法人福音会 宇津峰十字の里
サービス種別	障害者支援施設
開催日時	2025年8月21日（木）13:30～15:30
開催場所	大東コミュニティセンター 視聴覚室
出席者 (計14名)	宇津峰十字の里 保護者会会長 1名 福祉に知見のある方 1名 地域の関係者（民生委員） 1名 須賀川市保健福祉部職員 1名 福音会理事長 1名 宇津峰十字の里職員（園長、副園長、主任生活支援員、看護師、栄養士、副主任生活支援員） 9名
議題内容	1 理事長挨拶 地域連携推進会議の目的について
	2 出席者紹介
	3 事業内容報告
	<p>(1) 権利擁護について以下のことを説明する</p> <p>① 利用者満足度アンケート、保護者満足度アンケートの結果から</p> <p>② 苦情解決について</p> <p>苦情解決のシステム、満足度アンケートの取り方について説明。ご利用者さんからの意見や苦情について話し合う際には、ご利用者さんにも自分で解決に向けてできることを考えて頂き、大人としての役割も果たして頂くようにしている。</p> <p>ご利用者の希望する嗜好と健康維持の優先順位、したいことと望む工賃に差があることについては、支援のジレンマを感じている。</p> <p>地域移行や活動の選択、居室環境については希望をとり、希望者には見学等行っているが、経験を重ねないと想像できず、意見も変わるので、繰り返しの経験と選択が必要である。</p> <p>【質問1】</p> <p>委 ご利用者満足度アンケートの12で夜ぐっすり眠れているかという設問があるが、眠剤を服用されている方はいますか</p> <p>職 40名の入所者のうち、1／3くらいの方が服用されています。効きすぎて朝起きれない方は、精神科の医師に相談して調整して頂いています。</p> <p>途中覚醒のある方や眠れない訴えのある方への頓服は準備してありますが服用されている方はいらっしゃらないです。</p> <p>【質問2】</p> <p>委 ご利用者満足度アンケートの12ですが、構造的な課題があるのであれば何人部屋の方が眠りが浅いとかが記入されているとわかりやすいと思います。</p>

	<p>職 ちなみにですが、2人部屋の方でした。一人が中途覚醒してしまって眠れなくなるとのことでした。今は2～3人の部屋で就寝して頂いているのですが起きだした方が他の方の部屋へ入って寝てしまったり・・・</p> <p>委 部屋間の出入りも自由ですか？</p> <p>職 部屋の出入りも自由です。</p> <p>委 設問に理由を問うところがあるので、下記に特記事項で記載して頂けるとなぜ眠れないのか理解がしやすくなり、どうしてこの数字になるのかの理解が深まると思いますが・・・</p> <p>職 理由も記載したいと思います。</p> <p>【感想】</p> <p>委 経験や体験をするということは権利擁護からも大切です。ご本人が望む生活を実現するためには、やってみないとわからないということがあり、やってそこに囚われるということもありますが、それもご本人にとって発見であって、そこに長く携わっていることは素晴らしいことと思います。</p>
議題内容	<p>(2) 医務の仕事について以下のことを説明する。</p> <p>① ご利用者と職員の健康維持管理（健診、往診、通院、産業医等）</p> <p>② 通院回数の現状</p> <p>③ 感染症対策</p> <p>ご利用者の高齢化に伴い、成人病やがん治療等が出てきている。通院がほぼ毎日あり、受診科目も様々で年々増えている。障がい特性から慣れない場所での受診が難しく、見通しが持てない方へは診察順番が電光掲示板に出る病院だととても助かると思っている。また、郡山市の病院へ通院するときは移動や診察までの時間が長く、ご利用者・職員ともに負担が大きい。疲れたからとご利用者が検査を拒否することもある。</p> <p>課題としては、運動が好きではない方への療法や、症状・身体の部位・痛みを訴えられないご利用者への注意深い観察と早期発見である。</p> <p>感染症対策については、常日頃からの換気や手洗い、消毒、マスクが大切であると思って対応している。活動制限が緩和されている現在、「持ち込まない、感染しない対応」のほか、「発生時の対応」としてBCP*に沿って研修・訓練を行っている。</p> <p>【質問3】</p> <p>委 予防として身体的フレイルが進むことへの対応や体力をつけていく視点は大事かと思いますが、どのような取組みをされていますか。</p> <p>職 活動時間に体育館で遊びを取り入れながら運動したり、リハビリ目的の運動を行っています。また、棟の日課で毎日ストレッチを行っています。更にご本人や保護者さんからのご要望・意見を受けてケアプランを立て、体調管理、体力の継続・向上に取り組んでいます。</p>

委 できていることができなくなるということも心労になると思うので、そう
いったことも考えて取り組まれていることがわかりました。

職 その他、暑い中ですが日を浴びながら野菜作りを行っている方もいます。

職 女子棟では夜集まって互いに声を掛け合いながらストレッチを行ったり、
日中各自必要な内容でリハビリメニューの運動に取り組んでいます。

【感想】

委 冬はヒートショックが、夏も冷房と気温との差があるため環境も配慮され
ていると思いますが、成人病対策で運動・カロリーの取りすぎ等も配慮が必要
なので、管理の中で配慮されているのかと思います。

【質問4】

委 感染症対策は施設のご利用者が最優先だとは思いますが、在宅の方で家族
が感染してしまった場合に支援の必要な方について施設での対応を検討する
余地はありますか。

職 新型コロナ感染対策の際には、短期入所を利用しずらくご迷惑をおかけし
ました。入所で多床室という環境下で発生した新型コロナはすぐにクラスター
をもたらしました。収束に1ヶ月かかり、更に男女それぞれ感染して職員も
感染すると夜勤できる職員がいなくなり、管理者や医務、厨房、医務職員も
手伝って勤務して何とか乗り越える状況でした。

余裕がある時は短期入所を受けられても、余裕がない時は受けることがで
きないこともあります。短期入所中に罹患され、自宅での看病が困難なケー
スはそのまま支援したケースもありました。

障害を持つ子供の親御さんも職員として働いているので、回復期に至った
子どもさんが学校や作業所に行くまでの間預かるスペースづくりは必要であ
ると思っています。今のスペースでは難しいので、建て替えの際には設けて
働く方を支えていきたいと思っています。

委 病児回復期の対応を考えて頂けているのはとても素晴らしいことだと思
います。手が届かなかったところだったので、必要な視点だと思いました。

【須賀川市への意見】

委 市の財政もあると思うが、子どもを預ける施設は必要で、更に子どもと高
齢者や障がい者が交流していける、生活できる施設等も必要だと思います。

委 難しい問題。運営もある。市の体力として、多数ある施設を運営していけ
るかどうか。だからすぐやめるではなく維持していくためにはどうしたらいい
かを市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。子どもと高齢者が
共に過ごしたり先人の知恵を伝えることも大切。高齢者の通いの場にウルト
ラ長寿体操をきっかけに集まって頂いている。体操することだけが目的では
なく、いろんなことをして頂く場にして、みなさんからこれがしてみたいとい
う話を聞いてレクリエーションを膨らませていけるような活動をしていって
ほしいと長寿福祉課の職員に話しているところです。

	<p>職 そういった場所に、宇津峰十字の里のご利用者やバニラの子どもたちが遊びに行けたらいいと思います。</p> <p>委 地域共生社会と国が言っています。いろんな方が場に集まって活動する居場所づくり。例えば地域食堂。地域の方が年齢関係なく集まって話をしたり、遊んだり、ゲームをしたりして場の交流の中で地域の皆さんがお互いを助け合うというような環境づくりを勧められていったらという状況です。形としてどうとは言えませんが進んでいる段階中ということでご了承頂けたらと思います。</p>
議題内容	<p>(3) 栄養管理について説明を以下のことを説明する。</p> <p>① 療養食の提供</p> <p>② 好調査の実施</p> <p>③ 行事食の提供</p> <p>④ その他</p> <p>心臓病や糖尿病食は、医師の食事箋に基づいて献立を作成して提供している。嚥下機能が落ちている方には軟食用に調理方法を変えて提供している。</p> <p>食事摂取の際は、自分ですくいやすい食器やカトラリーを使用している。</p> <p>(現物を見て頂く) 誤嚥を防ぐために小分け支援の必要な方へは、職員が都度食事を小分けして提供している。</p> <p>嗜好やその日の体調によっても内容や量を調整し、個別の形態に合わせている。</p> <p>嗜好調査は個別に聞き取りを行い、結果を代替や献立作成に活かしている。</p> <p>行事食は、季節やイベントに合わせた見た目や内容のものを提供したり、ご利用者の希望を事前に訊いて取り入れたり、好きなランキングを反映した献立を作成して提供している。</p> <p>その他、希望するご利用者に代替も含めて記入した献立表を配布することを行っていることや9月には非常食の提供を行い、非常時の食事について事前にわかるようにしていること等説明を行う。</p> <p>課題としては、年齢が上がるにつれてコレステロールや高血圧、尿酸値の上昇があるため、調整しながらも満足して頂ける食事をどう提供するかが鍵となっていることとお話する。</p> <p>【感想】</p> <p>委 いろんな工夫をして食事提供されているのがわかりました。食堂に好きなメニューランキングが貼ってあったり、ご利用者さん同士でメニューの話をしている姿から食への関心が伺えたり、食器を工夫して自分で食べる楽しみを提供されていることがわかりました。生活習慣病が増えている状況ですが、甘いものが好きだったり早食いだったりで難しいところもあると思いますが活動や運動も組み合わせながらきめ細やかにやってらっしゃると、見てきて感じました。</p>

<p>議題内容</p>	<p>(4) 宇津峰十字の里の課題について</p> <p>① 施設の建て替えの課題について以下のことを説明する。</p> <p>【建て替えが必要な理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多床室であるため1部屋に2～3人のご利用者が生活しており、プライバシーに配慮が不足しているため、居室で落ち着いてゆっくり休める個室が必要であること。感染症発生時にクラスターになるため、ゾーン分けして感染拡大を防ぐことのできるユニット配置にする必要があること。 ・重度の障害者が増えているため、過敏さや強度行動障害のある方も安全に安心して生活できるよう防音設備や少人数のユニットが必要であること。自傷・物損・不潔行為等に対応できる素材の設備の設置が必要であること。 ・高齢化への対応として、安全に動きやすい環境にするために段差の解消やや手すりの設置、操作しやすい建具の使用を行うこと。更に支援者の負担軽減のため、見守りセンサーや機械浴の設置なども必要であること。 ・施設の老朽化のため、設備の修繕や入れ替えで数百万単位の出費があること。大規模でランニングコストが高く、物価高騰の影響があること。 ・地域のニーズに応える機能として、短期入所の増床（緊急ケースや障がいの重い方も利用）、福祉避難所、引きこもり児童の学習スペースや回復期病児の預かりスペース等を設置したいと考えていること。 <p>【建て替えにあたっての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設費の高騰があり、老人ホーム（ユニット）では1㎡が前年の45,000円上昇しており、木造で建築しても10億円以上かかると言われたこと。 ・報酬改定が3年ごとにあるが入所施設としての収入は増えず、借金をして建築しても返済が厳しく法人として二の足を踏んでいること。。 ・国庫補助金を申請しても県内で2ヵ所、全国にはもっと多数の入所施設が施設の建て替えを必要としており補助を得るのが厳しいこと。 ・グループホーム事業へ移すには、障がいの重い方を支援する職員や夜勤ができる専門性のある職員の確保に十分な報酬単価ではないこと。 ・第一種社会福祉事業だからこそ困難なケースが入所している。人権を尊重される生活の場を作り、地域のニーズに応えるためには建設費の確保が必需だが、難しい場合は大規模改築も検討せざるを得ない状況であること。 <p>【意見1】</p> <p>委 国の施策としても入所施設から地域へという海外の動きに追随している。それが本当にいいことなのかは考えなければいけないことと思うが、施策で入所施設への対応が薄くなっていると感じている。国庫補助金も減って老朽化施設も問題になってきている。今かろうじてあるのは老人福祉施設への補助金が部分的にある状況。市としては力になれない。報酬単価というところでは、働いている人が団体として結束して声を上げて頂くのが良いかと思う。当事者の意見の方がダイレクトに伝わると思う。報酬単価も見直しが実態に合っていないところもあると思うので、そこにどういうエビデンスを得られ</p>
-------------	---

	<p>るかということもご検討いただきながら訴えていくしかないと思います。</p> <p>資金をどう確保していくかというところでは、今流行りのクラウドファンディング、公的資金が難しいので、そういった情報を集めて取り組んでいくことも考えのひとつかと思います。</p> <p>職 クラウドファンディングをするのであれば、何ならよいでしょうか？</p> <p>委 「施設の建て替えをしたいので皆さんの力をお借りしたい。いつまでにいくらの目標額で」と全国に向けて発信をする。クラウドファンディングに詳しい方にアドバイスを頂いてするのではどうか・・・。</p> <p>委 投資ではなく、寄付ですよ。アメリカのように富裕層が寄付をするのは当然という文化がないから、そういった方法もひとつと思う。</p> <p>委 日本は寄付文化が欠落している。今の社会福祉の動きのひとつの課題は、寄付文化をどう育てていくか、定着させていくかということにもあります。これが大きなムーブメントになるといいと思っています。</p> <p>【意見２】</p> <p>委 保護者としては、寄付してもらえない・・・。</p> <p>【意見３】</p> <p>委 健康面でも環境づくりや環境調整は利用者さんに必要です。職員も支援しやすい職場環境になることで継続しやすくなるので、環境で解決できるところはすると良いと思います。</p> <p>【意見４】</p> <p>委 企業協賛という協力を依頼する、企業は社会貢献を行うという切り口があるので、「地域貢献」ということで施設に企業協賛をしてもらう。建物に名前を入れることで残るし、対外的にPRもできると思う。「テレビの取材等メディアを使って協賛することで使命や好感度を上げていく」といううまいプレゼンを考えて、乗っていただける企業が1社でも2社でもあればそこからさらにどなたかに輪を広げる等、いろんな方策を試していかないとここに掲載されている金額は逆立ちしても難しいと思います。皆さんでアイデアを出し合ってアクションを起こしていくというやり方もあると思います。</p> <p>委 「施設の建物がこういう状況で、利用者さんの現状をよくするために建て替えが必要」といったことを外部に発信して、「今自分たちがこんな取り組みをしているができない」ということを周りに訴え、有力な〇〇を使うとか、行政を巻きこんで須賀川発の取り組みが認知されると効果も変わってくると思う。十字の里だけでなく、資料も今回作っているのだからそういうのを上手に使っていくとよいと思う。（ユーチューブ 配信とか・・・）</p>
議題内容	<p>② 人材不足の課題について以下のことを説明する。</p> <p>6K職場というイメージもあると思うが、求人しても応募者がなく有料人材紹介を使っても定着が難しい。給与や休みなどの待遇面と働き甲斐を両立させるシステム作りが課題にもなっている。</p>

対人援助に向く人というのはあるが、実際に務めてから職員も成長していき、心が豊かになっていく仕事。専門性は、必要に応じて研修し学びながら身に付けるため、転職してきてから国家資格を取った人もいる。子供が手を離れてから長く働き始めたお母さんもいる。

障がい者支援の仕事は、職員ひとり一人の得意を活かして能力を発揮し、チームで支えあって結果を出す仕事。喜びを互いに与えあえる仕事。安心して暮らせる地域をみんなで作っていく、社会に役立てる仕事である。子供の頃から障害のある方への理解を広げ、障がい福祉の魅力を伝えていきたい。

現在の求人状況について。（女子職員、理学療法士、パート職員）

今まで出会ったことのない、かかわらずに過ごしてきた人を理解するためには、同じ時を過ごすこと同じ体験を分かち合うことがスタートになる。今回構成員の皆さんにお出でいただけたので、次回はずいぶんお友達を連れて遊びに来ていただきたいと思う。障がいを持つ方を知り、その生活を知り、支える職員や施設を知って叱咤激励を送っていただき、魅力を感じたら「こんな仕事もあるよ」と周りの方に伝えていただきたいと思う。

【意見5】

委 福祉の人材は不足している。行政で何とかしてと言われることもあるが・・福島県では介護の人材への取り組みで高校生の施設見学等があると新聞に載っており県の計画にもあったので、須賀川市の課で誘致したらという話はしたがなかなか難しい。県にも言ってはいるがすぐに須賀川市に行くことはできないようです。毎年言っていれば須賀川市にも目を向けていただけたと思うので粘り強く働きかけていきたいと思います。

福祉大学の卒業生はなぜ福祉に行かないのか？即効性はないと思うが、実習の受け入れをして現場を知っていただけるようにしたり、インターンシップとかいろいろあると思うので興味関心を持っていただけるように働きかけることは一つかと思っています。報酬単価があるとは思いますが、「給与じゃない、金額じゃない」言っても、企業がどうゆう状況で・給与の市場がどうなのかを訴えていかなければいけないと思います。

職 実習生は保育実習が数としては多く、専門学校もありますが、高齢者関係でイメージが付きやすいところへ就職してしまうため、なかなか就職につながらないという状況です。障がいは怖いというイメージもあり、知っていただくためにも見学等あればいいかと思っています。

中学生が高校を選ぶのに進路を悩む時期があると思うので、教育委員会との話になると思うのですが、中学生の時に施設見学・ボランティア・職場体験（以前はそういった取り組みがあったんですが）等働きかけて遊びに来てもらうといいかと思っています。福祉に向く人の話がありましたが、幼稚園の子供でも障がいを持つ子供さんの面倒を見てくれる子供さんはいて、話しかけても返事をしない障害を持つ子供さんに対して、そのお子さんは現物を目の前に出したんですね。そしたら通じて遊ぶことができたということが

	<p>ありました。センスのある子は小さいときからあるのだなと思いました。高 高生もですが中学生と何か一緒にできないかなと思います。で、それを須賀 川市で、教育委員会で何とかやってくれないかなと思います。</p> <p>委 福祉教育というところが十分ではないと感じていて、目下の課題で、考え 中であります。いずれそこは広げていかなければいけないと思いますし、国 が求めている地域共生社会がまさしくそういうところを組んでいかないと定 着しない、実現していかないと思っています。小さいうちから福祉って何だ ろうというところ、まずはいろんな人がいるよねとわかっていってもら、 小さいうちから間口を広げていくということの大切さはしっかりやらなきゃ いけないと思う。時間はかかりますが、アンテナは立っているのでこれか ら市の事業としてどう広げていくかは、教育委員会とも話をしながら形にし ていきたいと思っています。</p> <p>職 まず、秋祭りやクリスマス会に皆さんがおいでになることをお待ちしております。</p>
議題内容	<p>(5) 地域の皆さんから法人や施設に望むことについて</p> <p>【意見6】</p> <p>委 地域でも、福音会や宇津峰十字の里がどんな事業を行っているかを認知し ていない人がかなりいると思う。目の前にあっても、どこまでやっているの か来て話を聞くまでわからないところがありました。内部からきちんと発信 することが今まで協議してきたことの答えの一つになっていくと思います。</p> <p>【意見7】</p> <p>委 保護者の代表としては、望むことはない。一生懸命やってもらっています。 環境整備では、女子職員が男性保護者よりも働いている姿を見るので感心し ています。保護者の方も安心してお預けして家に帰れていると思います。悪 いところはないです。安心しているのだから・・・。実際に入ってみないとわ からないと思います。一緒に掃除して、ワックスがけも職員がしていた。</p> <p>【意見8】</p> <p>委 今までわからなくて、話を聞いてオンブズマンで入って、会議で話を聞いて 十字の里で貢献されていることがわかりました。利用者さんも今まででき なかった体験を積み重ねて選択肢が広がったり、成長されているところとか。 外出や外食の楽しい話や、純烈のコンサートに行くなど楽しみをもって生活 されていることなどを肌で感じることができました。</p> <p>地域とこういうことをしたいなとか、地域の人と一緒にこういうことがし たいとかあればそこからいろんなことに発展していくのかなと思います。</p> <p>アンケートで利用者さんの今後の活動に望むところとご家族の思いが離れ ているところがあるなあと思い、支援してこんなふうによくなっているとい うことを発信できるたらいいのかなと思いました。</p>

【意見9】

委 宇津峰十字の里ってどんな施設なんだろうというところがあるので、何を望んでいいかわからないため言葉が出てこない。どうやってかわかっていけるかというところがあっていいと思うし、例えばお祭りのところで「どんなことで関われますか？」と自由に書いてもらうとか、「こんなことで関わればいいんじゃない」ということが一つでも二つでもあればそこにチャレンジして形にしていく。それを地域の方々に見える化していくということがひとつでもできると風向きが変わってくるかもしれないところがあるので、問い合わせ方を変えることによって、変わってくるところも出てくるかもしれないと思います。

皆さんすごくよくやっていただけているし、それこそスプーンの形を変えるとか長さを変えるとか、40人もいてなかなかできることではないと思うので、これ以上望んでいいのかと思います。

(6) 構成員の皆さんからのご意見を受けて職員から

職 地域の方に知ってもらえるように、地域に出て行ったり何かに参加したり、催し物をやってみたりして一人でも多くの方に知ってもらえるようにすることがまず大切だと、そこから考え方とかいろいろ共有できていけるんだなと今回わかりました。

職 3つ。一つ目は女子職員がいないので、助けてください。二つ目は、地域の皆様にぜひ十字の里に遊びに来ていただき、ご利用者と触れ合っていて、職員にあいさつや声をかけていただければそれが励みになると思いますので、よろしくお願いします。三つ目は、ご利用者のできるお仕事がなかなか無く、「障がい者施設では」と断られたり、納品量が多すぎて受けられなかったりするので、皆様のお力を頂けたらと思います。「こんな仕事があるよ、こういうのやってみない」と言っていただけたらと思います。よろしくお願いします。

職 皆さんによくやっているとお褒めの言葉を頂きたいへんうれしく思いました。これで満足することなく、更によくするためにもみなさんに知っていただくことが大切だなと思いました。

職 あちこち病院に行きますので、その際にはお声をかけていただきたいと思います。よろしくお願いします。順番待ちの電光掲示板はいろんな病院につけていただけたらいいなと思います。

職 なんの疑問もなく当たり前やってきたことは、実際ご利用者のために一つひとつやってきたことなんだということと、外部に発信していく必要があって、認知されて評価されるものなんだと改めて感じました。自信をもって仕事をしていきたいと思いました。また、自分自身も後輩や外部に向けて発信していきたいと思いました。

	<p>職 皆さんの話を聞いて、施設の職員だけでは考えつかなかった企業協賛とか、いろいろな立場からご意見を頂けるのはありがたい機会だと思いました。アピールポイント、今までは施設内でご利用者さんにわかりやすくやすく伝えることや、コロナ下で交流が持てなかった保護者さん向けにブログをアップしたりしてきたのですが、更に地域の方や全国的に宇津峰十字の里はこんなことをしているということをアピールすることが大切なんだと思いました。プレゼン力やアピール力をみんなで考えていきたいと思いました。</p> <p>職 栄養士として厨房と一緒に協力し、秋祭りやイベント等に地域の方に来て頂いて、ご利用者と会食を共にして頂き、ご利用者さんを知って頂くことでかわりが広がっていくようにしたいと思います。</p> <p>職 推進員の方から頂いたご意見が職員にちゃんと伝わり、次こうしようと各自が思えたことから、とても良い会にすることができたと思います。</p> <p>職 本日は誠にありがとうございました。</p> <p> 前回は説明に終始しましたが、今回は皆さんとひざを突き合わせてお話ををし、ご意見を頂けたことは大変良かったと思います。皆さんに評価を頂きましたが、更に襟を正して、「私たちはこういう理由でこんな支援を行っています。これにはこんな効果があって、これから地域のためにも役割を果たしていきたいと思いますのですがどうでしょうか？」と問いかけ、実施して行った結果を報告し、更にどうするかのカッチボールを地域の皆さんとしながら地域をより良いものにしていく。それが目の前で生活しているご利用者さんの生活の質に、私たちの次の世代に、須賀川の福祉の向上につながっていくのではないかと改めて考えさせられました。</p> <p> これからも皆さんと連携しながら、見て頂きながら、忌憚のないご意見を頂戴しながら、私たちの役割を果たしていければと思います。今後ともよろしくお願いします。本日は誠にありがとうございました。</p>
--	---

* BCP：業務継続計画（自然災害や感染症などの緊急事態が発生した際に事業を継続させるための対策や行動指針を定めたマニュアル）

議事録署名人 _____ 印